



学校便り きらきら天妃っ子



那覇市立天妃小学校

11月号 令和5年11月1日
校長 平良 その子

先日実施した運動会では、子供たちへ盛大な拍手と温かいご声援をいただきありがとうございました。子供達の成長した姿を保護者・地域の皆様に観ていただくことができ、大変嬉しく思います。子供たちは、これまでの練習の成果を発揮し、素晴らしい演技や競技を披露してくれました。この経験を通して、「やり遂げること」「協力すること」「助け合う事」等を学び、自信を得、心も体も一段と成長したものと思います。改めて、旗頭演舞のご指導、会場設営、学校周辺の見回り等にご協力くださいました保護者、おやじの会、地域の皆様に深く感謝申し上げます。

〈1年生〉

「的当て玉入れ・ダンス」

「30メートルかけっこ」



〈2年生〉

「こころおどらせ!」

「折り返しリレー」



〈3年生〉

「リズム縄跳び」

「ビュンビュンタイフーン」

「わんぱくりレー」



〈4年生〉

「きらめく波 進め!! 天妃バイレーツ」

「バトンをつなげGO! GO! リレー」



〈5年生〉

「天妃っ子エイサー」

「学級対抗ガチリレー」



〈6年生〉

「Thank you for Family」



裏面もあります

〈6年〉

「Thank you for Family」



「団結リレー」



「大玉ころがし」



「旗頭演舞」



全力で心を一つにして頑張った天妃っ子。

以下は、演技や競技の決定から、練習の過程、本番までを通して学んだことを代表して伝えてくれた6年生の素晴らしい挨拶です。

児童代表挨拶

6年 仲栄真 利里

私達6年生は、自分たちで種目を決めて運動会の練習をしました。

「運動会をやる意味は何なのか」、「運動会をして何を伝えたいのか」、みんなでたくさん考えた結果、私達はダンスと組体操をすることになりました。決まった時には、運動会への時期も長くはありませんでした。組体操の技はなかなか決まらなかったり、ダンスの曲は意見が割れて練習が直前までできなかったり、自分たちが決めたとは言え、やってみるとうまくいかないことだらけでした。それでも、私達は練習をおこたることなく、一生懸命努力しました。そして、本番当日では、練習以上に真剣に、全力でパフォーマンスをすることができました。

みなさん、運動会とは何のためにやると思いますか？私達6年生が出した答えは、「家族や今までお世話になった人たちに感謝と感動を伝える」でした。でも、答えは他にもあります。私達は、小学校最後の運動会となりますが、他の学年は、来年・再来年と運動があります。運動会だけではなく、他の行事も与えられたものを適当にするのではなく、自分たちでしっかり考えて自分たちが出した答えで、真剣に取り組んでほしいと思います。そして、今回の6年生のテーマ「家族に感謝と感動を届ける」。

今、この会場にいる全ての保護者の皆様、私達は、これから先、いろんなことがあると思うけど、この一言だけは変わりません。

「Thank you for Family」